

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

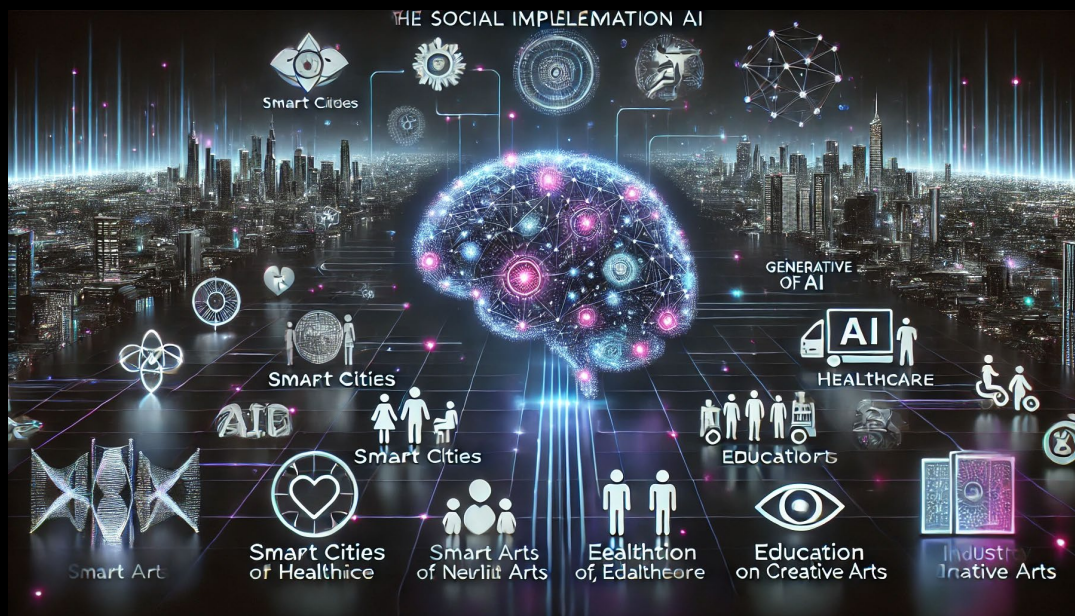
令和7年3月31日時点

開催日時	開催形式（場所）	名称
4月12日（土） 14:00～17:00	ハイブリッド （大阪成蹊大学駅前 キャンパス）	公開シンポジウム「教育改革と可視化－生成AIの普及と向き合うAI・データサイエンス教育」
4月12日（土） 9:00～17:45 4月13日（日） 9:00～12:30	東京科学大学大岡山 キャンパス	公開シンポジウム「第71回構造工学シンポジウム」
4月18日（金） 14:00～16:00	浜松町コンベンションホール	共同主催国際会議市民公開講座「あなたの未来を開く生殖医療 広がる選択肢と可能性」
4月26日（土） 13:30～17:00	パシフィコ横浜	共同主催国際会議市民公開講座「触れる未来、創るHCIの世界 未来の技術を体験しよう！」
4月27日（日） 14:05～16:05	ハイブリッド （佐賀大学医学部臨 床大講堂）	公開シンポジウム「心腎代謝症候群（CKMS）について多角的に考察する～産官学によるCKMS対策に関する政策提言に向けて～」

※諸般の事情により、内容等に変更が生じる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。

教育改革と可視化

公開シンポジウム



- ・ 日 時：令和7年（2025年）4月12日（土）：14：00～17：00
- ・ 場 所：大阪成蹊大学駅前キャンパスこみちホール（大阪市東淀川区相川1丁目3番7号）（ハイブリッド開催）
- ・ 参加登録：左下のQRコードより登録をお願いします
- ・ 開催趣旨：生成AIが急速に普及する中、それに対応できるAI・データサイエンス教育の在り方を討論する。本シンポジウムでは、生成AIの社会実装と教育現場での活用可能性を中心に、イノベーション人材育成のための具体的な教育手法や課題を探る。
- ・ 総合司会：水井 賢文（株式会社 富士テクニカルリサーチ 営業本部 主査）
- ・ 開会挨拶（10分）：中村佳正（大阪成蹊大学 学長／教授）
- ・ 趣旨説明（20分）：小山田 耕二（日本学術会議連携会員、大阪成蹊大学データサイエンス学部 学部長／教授）
- ・ 基調講演（90分）：生成AIの普及と向き合うAI・データサイエンス教育
巳波 弘佳（関西学院大学 副学長／教授）
- ・ パネル討論（60分）：
タイトル：AIと教育の未来：多様性を活かす教育手法の模索
モデレーター：服部 翔大（横河デジタル株式会社マネージャー）
パネリスト：筑本 知子（日本学術会議連携会員、大阪大学 レーザー科学研究所マトリクス共創推進センター センター長／教授）、山辺 真幸（一橋大学 大学院ソーシャル・データサイエンス研究科 特任講師）、志村 祐康（国立研究開発法人産業技術総合研究所エネルギー・環境領域 再生可能エネルギー研究センター・主任研究員）、林 宏樹（雲雀丘学園中学校・高等学校教員）、藤井美美（立命館大学 理工学部准教授）
- ・ 閉会挨拶（10分）：筑本 知子（日本学術会議連携会員、大阪大学 レーザー科学研究所マトリクス共創推進センター センター長／教授）



主催 日本学術会議 共催 大阪成蹊大学

第71回 構造工学シンポジウム

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会
共催：日本建築学会，土木学会

本シンポジウムは、『構造工学論文集 Vol.71』の掲載論文を中心としたシンポジウムを開催することによって、産・官・学、各界の研究者・技術者に学术交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を目的としたものです。建築部門と土木部門それぞれの論文投稿者による発表のほか、特別講演および建築・土木合同のパネルディスカッションを実施します。

会期——2025 年 4 月 12 日(土)～13 日(日)

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

※開催方法、会場の変更等は構造工学論文集編集小委員会 Web ページにてお知らせいたします。随時ご確認ください。

参加費——無料

論文集——『構造工学論文集 Vol.71A』(土木)、『構造工学論文集 Vol.71B』(建築)は、2025 年 4 月上旬に J-STAGE で発行・無料公開する予定です。
※冊子の論文集は作成いたしません。

掲載討議方式実施のお知らせ

『構造工学論文集 B』(建築)では、掲載討議方式を実施しています。会場での討議に加えて書面による討議を実施し、その内容を次年度の論文集に掲載します。これにより、シンポジウムに参加できない読者にも討議の機会が与えられるとともに、討議内容が公表、記録されることになります。討議実施要領ならびに討議文書様式は、論文集に掲載いたします。

●特別講演会・パネルディスカッション

会期——2025 年 4 月 12 日(土) 15:00～17:45

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

1. 開会式 15:00～15:10

挨拶：竹内 徹（日本学術会議土木工学・建築学委員会／東京科学大学）

佐々木葉（日本学術会議土木工学・建築学委員会／早稲田大学）

司会：深田幸史（金沢大学）

2. 特別講演会 15:10～16:10

「BIM/CIM，レーザ計測および IoT によるデジタルツインを用いた土木・建築構造物の維持管理」

講師：矢吹信喜（大阪大学）

司会：深田幸史（同上）

3. 建築・土木合同パネルディスカッション 16:15～17:45

「DX社会に貢献する構造工学」

構造工学シンポジウムでは、主として土木構造・建築構造物に関わる全ての工学技術について、目的・方法・結論等の明記された、理論的または実証的な研究論文、あるいは新しい知見を含み学術的に価値の高い、特色のある資料・調査・計画・実験・施工等、構造工学の発展に寄与すると考えられる論文の募集を行う。査読を通過した論文の発表講演に加え、特別講演とパネルディスカッションを行う。

第 71 回目となる今回は、「DX 社会に貢献する構造工学」をテーマとして、DX 社会における構造工学分野の技術開発や取組に焦点を当てた特別講演、パネルディスカッションを行う。働き手の高齢化、深刻な人手不足の状況下において、年間労働時間の制約の中で、業務の効率化や生産性の向上には、BIM/CIM、AI、ICT、IoT などのデジタル技術の活用が期待されている。構造工学分野へのデジタル技術の活用について理解するとともに、今後さらに、構造工学分野がどのように DX 社会で貢献できるのか、その未来像を考える場としたい。

司 会：玉井宏樹（九州大学）
西村康志郎（東京科学大学）

主旨説明：

深田幸史（前掲）

パネリストおよび講演：

「3次元解析の最先端」

全 邦釘（東京大学）

「施工現場における DX 推進の現状と課題」

元村亜紀（株式会社大林組）

「DXで広がる構造設計の未来」

貞許美和（株式会社日建設計）

「AI技術を活用した強震動予測技術」

三浦弘之（広島大学）

●建築部門発表講演

会期——2025 年 4 月 12 日(土) 10:30～14:45

13 日(日) 10:00～12:30

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

●土木部門発表講演

会期——2025 年 4 月 12 日(土) 9:00～14:45

13 日(日) 9:15～12:30

会場——東京科学大学大岡山キャンパス西 9 号館

●シンポジウムプログラム

各学会のシンポジウムプログラムは、以下の Web ページにて公開予定です。随時更新いたしますので、最新版をご確認ください。

日本建築学会 構造工学論文集編集小委員会

<http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/>

土木学会 構造工学論文集編集小委員会

<https://www.jsce.or.jp/committee/struct/journal/>

The 70th JSRM
Annual Meeting of the

第70回 日本生殖医学会学術講演会

IFFS WORLD CONGRESS 2025

2025年 国際生殖医学会

Diversity, Sustainability and Resilience in Reproductive Medicine

市民公開講座

あなたの未来を開く生殖医療
広がる選択肢と可能性



参加費無料

ご参加申し込みは
こちらから! —>

ご質問にお答えします!
応募欄よりお寄せください



会期 2025年
4月18日(金)14:00~16:00

会場 浜松町コンベンションホール
〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目3-1 日本生命浜松町クレアタワー6階

座長 廣田 泰 (東京大学 医学部附属病院 女性診療科・産科 教授)

★ 今から妊娠に向けてできること ~ 生殖医療でできること、こんなにあります ~

講演者 眞田 裕子 (東京大学 医学部附属病院 女性診療科・産科 助教)

★ 私って妊娠しづらい? 婦人科疾患と不妊症

講演者 松尾 光徳 (東京大学 医学部附属病院 女性診療科・産科 助教)

★ 妊娠とライフプラン ~ 先生の場合は? こんな場合どうしたら? ~

講演者 浦田 陽子 (国立成育医療研究センター 女性総合診療センター 不妊診療科診療部長)

主催 International Federation of Fertility Societies (国際生殖医学会連合)、一般社団法人日本生殖医学会、日本学術会議

後援 こども家庭庁、東京都

お問い合わせ 国際生殖医学会2025 / 第70回日本生殖医学会学術講演会 運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内 TEL : 03-3263-8698 E-Mail : reg-iffs2025@c-linkage.co.jp

招待講演 ▶ **落合陽一 先生**

筑波大学 デジタルネイチャー開発研究センター

「脱人間中心HCIと
デジタルネイチャーの実践」

研究紹介 ▶ **最新技術発表会**

- ・学生による研究発表
- ・学生による技術体験会



市民公開講座
横浜市MICE次世代育成事業

触れる未来、 創るHCIの世界

未来の技術を体験しよう！

未来の生活を豊かにする人と情報システムのよりよい関係を考える
研究分野 Human-Computer Interaction (HCI) で、
最も権威があり、規模も最も大きい
国際会議 CHI（第43回人と情報システムの相互作用に関する
国際会議）が、初の日本現地開催として、横浜で開催されます。
その研究の魅力を高校生や市民の皆さんに体験していただくため
シンポジウムを開催します。大学の先生や学生の研究紹介や
デモンストレーションを通じて、研究の最前線に
触れてみませんか？ ぜひご参加ください！

場所

パシフィコ横浜 ノース4階 G401

日時

2025年 4月26日（土）13:30 ～ 17:00（予定）

開場 13:00

参加申し込みは **Webサイト** から

参加費無料

先着順に参加のお申し込みを受け付けます。

定員になり次第

キャンセル待ちとなります。

Webサイトの参加登録フォームから
お早めにお申し込みください。



QRコードを読み取り または 以下のURLを入力

https://sigchi.jp/symposium/chi2025_symposium/

CHIとは？



CHIは、カイと呼ばれ、人と情報システムの相互作用に
関する先端研究を国際的に共有し、社会課題の解決と
新たな価値創造を目指す場として、毎年開催されます。

参加者は多様な専門分野の研究者や学生で、最新の
アイデアが集結し、革新的な技術が数多く紹介されます。

主催 日本学術会議 Japan ACM SIGCHI Chapter

共催 横浜市

実行委員 東北大学 インタラクティブコンテンツ研究室



SIGCHI
Japan Chapter

明日をむかふ都市
OPEN | PIONEER
YOKOHAMA



公開シンポジウム

「心腎代謝症候群（CKMS）について多角的に考察する
～産官学による CKMS 対策に関する政策提言に向けて～」

1. 主 催：日本学術会議臨床医学委員会循環器・腎・代謝内分泌分科会
2. 共 催：一般社団法人日本血管不全学会
3. 日 時：令和 7（2025）年 4 月 27 日（日）14：05 ～ 16：05
4. 場 所：佐賀大学医学部臨床大講堂（佐賀県佐賀市鍋島 5－1－1）（ハイブリッド開催）

5. 開催趣旨：

近年、心血管・腎・代謝症候群（Cardiovascular-Kidney-Metabolic Syndrome（CKM 症候群））という概念が提唱され、生活習慣の乱れや肥満を起点とした代謝異常、慢性腎臓病（CKD）、心血管疾患（CVD）との密接な関連が明らかになってきた。糖尿病や高血圧といった生活習慣病が、単独ではなく相互に影響を及ぼしながら重症化することが認識される中、従来の臓器ごとの個別管理ではなく、包括的な疾患管理の必要性が高まっている。本シンポジウムでは、循環器・腎臓・代謝の各専門領域の立場から、CKM 症候群の病態メカニズム、診断・治療の現状と課題、今後の研究・医療の方向性 について幅広く議論する。さらに、アカデミアとして本領域にどう貢献していくべきか、学際的な視点からの知見の共有を行う。

6. 次 第：

テーマ：産官学による心腎代謝症候群（CKMS）対策に関する政策提言に向けて
◇座長

野出 孝一（日本学術会議第二部会員／佐賀大学医学部長・内科主任教授）

佐藤 加代子（日本学術会議連携会員／東京家政大学栄養学部栄養学科教授）

14:05 「我が国の Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome の現状と課題」

野出 孝一（日本学術会議第二部会員／佐賀大学医学部長・内科主任教授）
（予定）

14:20 「腎臓学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」

南 學 正臣（日本学術会議連携会員／東京大学大学院医学系研究科教授）

14:35 「代謝学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」

斯波 真理子（日本学術会議第二部会員／大阪医科薬科大学循環器センター特務教授）

- 14:50「糖尿病学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」
稲垣 暢也（日本学術会議連携会員／公益財団法人田附興風会医学研究所
北野病院理事長／京都大学名誉教授／京都大学大学院医学
研究科特命教授）
- 15:05「循環器学の視点から Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome 対策を考える」
金子 英弘（日本学術会議連携会員（特任）／東京大学医学部附属病院循
環器内科先進循環器病学講座特任准教授）
- 15:20「社会的課題として捉える Cardio-Kidney-Metabolic Syndrome」
水野 篤（日本学術会議連携会員（特任）／聖路加国際病院医療の質管理
室室長）
- 15:35 討論
- 16:05 閉会

7. 申し込み：参加費無料・事前申込不要
オンライン視聴用の URL は後日掲載いたします。

8. 問い合わせ先：東京大学医学部先循環器内科 金子英弘
E-mail: kanekohidehiro@gmail.com ※(a)を@にしてお送りください。